

No.	取り組み	指針	メインゴール	サブゴール	評価項目	活動状況	実績	達成率
1	CO2の削減	加圧注入木材の生産における天然乾燥および、本来木材が使えない箇所に加圧注入木材を代用することで、生産にかかるCO2削減を図る	13	7,9,11,14,15	2019年度実績から200%の加圧注入木材への転換によるCO2削減を目指す	継続導入中	2019年実績：5,163t/CO <sub>2</sub> に対し2022年度実績：4,133t/CO <sub>2</sub> で達成率は80%	80%
2	国産材利用	国産材利用を促進し、日本の山を守るとともにカーボンフットプリントの観点から環境負荷削減を図る	13	6,9,11,12,14,15	2019年度実績から200%の国産材利用の増加を目指す	継続導入中	2019年実績：9,923m <sup>3</sup> に対し2022年度実績：9,666m <sup>3</sup> で達成率は89%	89%
3	ベレット塗料のシェアを広げる	通常の液状防蟻材からベレット防蟻塗料の割合を増やすことで環境負荷を減らす	6	12	ベレット防蟻施工の割合を75%まで伸ばす	継続導入中		34%
4	太陽光発電の設置	宮崎工場の電気使用量の50%を太陽光発電でまかなう	7	12,13	太陽光発電の設置と自家消費型工場への転換	計画中		0%
5	自社電球のLED化率を上げる	自社電気の交換時にLEDへの変更を行う	7	13	100%のLED化を実施する	計画中		0%
6	社用車をハイブリット車に切り替え	社用車をハイブリットなどの環境配慮型に切り替え、環境配慮を行う	7	13	社用車すべての環境配慮型車への切り替え	切り替え継続中	4/5台は切り替え済み	80%
7	廃棄物のリサイクル	大阪本社で主要廃棄物の金属、木材をリサイクル型産廃業者に移行する	12	11	～2024年度までに導入する	2022年度から導入	木材は阪南産廃へ委託し、無処理材はバーティカルボードへリサイクル、薬剤処理材はバイオマス燃料へ活用されています。鉄くずは大阪放鉄様に委託し、鉄のリサイクルに活用されています。	100%
8	プラスチックの再利用	株式会社TBM様の提供するMaaR(マル)で一部の指定プラスチック製品をリサイクルする取り組みに参加する。	12		MaaRの継続導入	2022年度から導入		達成
9	雨水	雨水を利用し、工場で使用する水道水の使用量を減らす。	6	7	雨水の利用で資源の再利用を行う	2022年度から導入	2022年より宮崎工場で実施	達成
10	ハンガーゼロ自販機の継続導入	ドリンク1本につき10円がハンガーゼロに寄付され、発展途上国のご飯に当てられる。	1	2,3,10,17	ハンガーゼロ自販機の継続導入	2019年度から導入	32,902円の寄付	達成
11	エコキャップ運動の継続導入	ペットボトルのキャップのリサイクルで発生した利益を、発展途上国の子ども向けワクチン代に充てられる。	3	12,17	エコキャップ運動の継続導入	2021年度から導入	2,666個のキャップを寄付	達成
12	ヘルマークの継続導入	ヘルマークラベルを集めて寄付し、登録参加のPTAや公益団を通じて僻地にある学校などの拠頭に役立てられる。	4	17	ヘルマークの継続導入	2021年度から導入		達成
13	育児・介護の取得率及び復帰率	従業員の育児・介護に対する不安を払拭し、職場復帰までの支援を行う	5	7,8	2022年度までに育児・介護休暇マニュアルを作成 2023年度までに導入し、取得率100%を2030年度まで維持する。	2022年度から導入	営業職1名(男性)：1か月 技術職1名(男性)：2か月 事務職2名(女性)：1年	達成
14	健康診断の受診	社員の健康促進と病気のリスクの削減	3	8	毎年の受診率100%	継続導入中	受診率100%を達成	100%
15	健康経営の推進	健康経営の推進と企業の成長	3	8	2022年度までに健康経営の作成し健康優良法人認定の取得、 2030年度までに健康優良法人認定の維持	継続導入中	2022年に認定取得	達成
16	交通事故安全講習	従業員の事故抑制	3	8	全社員に年1回の安全講習を継続実施する。	2022年度から導入	JAF大阪支部様に講習頂きました。	達成
17	ドライブレコーダーの設置	従業員の事故抑制	3		2022年度までに社用車すべてにドライブレコーダーを設置と維持	2022年度から導入	2022年全車に搭載	達成
18	資格取得支援	自己成長の場の提供を促進	4	8	事業関連の取得にかかる費用を100%負担する。	2021年度から導入	しるあり防蟻施工士：3名取得	達成
19	クールビス・制服の選択肢増加	自身の体調に合わせ、衣替え時期の自由化に加え、男性女性の制服基準を同一にする	5	8	クールビス・制服の選択肢増加の継続導入	2021年度から導入		達成
20	フリーアドレスの導入	社歴、年齢、年齢に関係なくコミュニケーションが取りやすい環境を整備	8		フリーアドレスの継続導入	継続導入中	1988年より実施	達成
21	完全有給取得率の増加	有給取得率向上により、ワークライフバランスの向上を図る	8		完全有給取得率の平均を70%以上にする	継続導入中	有給取得日数の平均値は10日/人/年	61%
22	平均残業時間の削減	残業時間の削減により、ワークライフバランスの向上を図る	8		事務所はすべて19時(定時17:30)に完全閉鎖	継続導入中	19時には完全退社を実施	達成
23	ハラスメントへの対応	ハラスメントの根絶を目指す	16		～2024年度までにハラスメント規定の策定と周知を実施する ～2030年度まで全社員に向けてハラスメント研修を年一回行う	2022年度から導入	全従業員を対象に大塚商会様のe-ラーニングを実施	達成
24	特許技術	薬剤開発を行い技術の発展を図る	9	12	薬剤認定、工法の出願	継続導入中	今年度は新規薬剤、工法の認定は無し	0%
25	事業継続計画の策定	災害など緊急事態時での事業の継続や復旧を図る	13	11	～2022年度までに計画書を策定 ～2024年度まで導入	2022年に策定	2021年に取得	達成
26	プレジャーピング会	取引企業へのコシイレジャーピングの主催セミナーの開催 事業取り組みの報告と取引先同士のコミュニケーションの場を提供	17		～2030年度まで年2回の開催を維持する	継続導入中	2022年度春季はコロナウイルスのまん延防止のため中止。 2022年度秋季は開催	50%

※年度：4/21～翌4/20